

IUHW

International University of Health and Welfare

vol. **63**
December
2005
増大号



国際医療福祉大学10周年 記念コンサート開催

小田原保健医療学部、2006年4月開設!

キャンパスレポート Part1 第10回風花祭
Part2 特色ある臨床実習
Part3 海外研修&語学研修

大川キャンパスレポート 第2回
トピックス&告知板
施設インフォメーション



沿革	
1995(平成7年)4月	国際医療福祉大学開学、保健学部開設。
1997(平成9年)3月	国際医療福祉大学クリニック・言語聴覚センター開設。
4月	医療福祉学部開設。
1998(平成10年)7月	臨床医学研究センター・国際医療福祉病院開設。
10月	国際医療福祉総合研究所開設。
1999(平成11年)4月	大学院医療福祉研究科保健医療学専攻(修士課程)開設。
2000(平成12年)4月	国際医療福祉リハビリテーションセンター開設。
11月	臨床医学研究センター・新山王病院開設。
2001(平成13年)1月	国際医療福祉大学東京ボイスセンター開設。
4月	大学院保健医療学専攻(博士後期課程)医療福祉経営専攻(修士課程)開設。
4月	大学院サテライトキャンパス開設。
2002(平成14年)4月	保健学部視機能療法学科、医療福祉学部医療福祉学科介護福祉士コース開設。
7月	国際医療福祉大学附属熱海病院開設。
2003(平成15年)4月	おおたわら総合在宅ケアセンター開設。
2004(平成16年)4月	大学院公開講座「乃木坂スクール」開設。
2005(平成17年)3月	国際医療福祉大学附属三田病院開設。
4月	薬学部、リハビリテーション学部(福岡県大川市)開設。
7月	新国際医療福祉大学附属熱海病院開設。
9月	小田原保健医療学部設置認可。



東京フィルハーモニー交響楽団。(写真右上)指揮・大町陽一郎氏(右)とソプラノ・白木あい氏。(写真左上)常陸宮正仁同妃両殿下(左から2人目、3人目)。左は谷修一学長、右は高木邦格理事長。(写真左下)

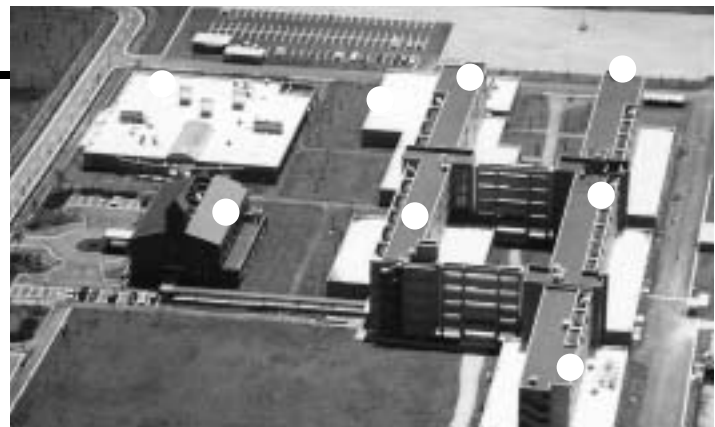
国際医療福祉大学 10周年記念 コンサート開催

国際医療福祉大学の創立10周年を記念して、東京フィルハーモニー交響楽団によるコンサートが10月15日、常陸宮正仁親王同妃両殿下ご臨席のもと、那須野が原ハーモニーホール(栃木県大田原市)で開催された。



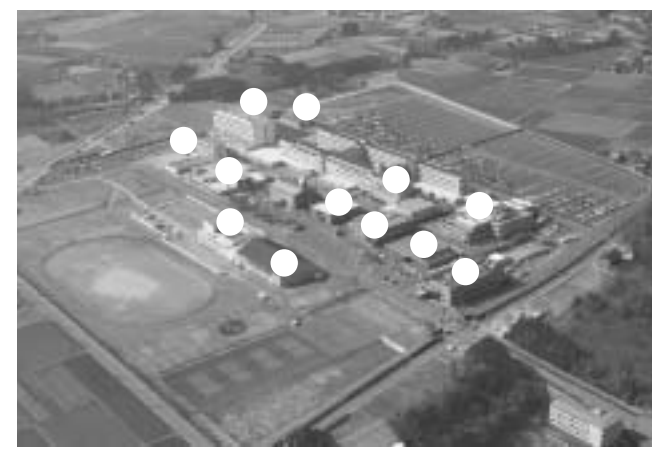
空から見る変遷

- 1995**
- A棟(実験実習棟)
 - B棟(実験実習棟)
 - C棟(実験実習棟)
 - D棟(講義棟)
 - E棟(講義棟)
 - 図書館
 - G棟(管理棟)
 - H棟(体育館)
 - I棟(レストラン棟1階)



大田原本校・校地面積:222,397 m²(67,400坪) **2005**

- F棟(講義棟)
- I棟(レストラン棟2階)
- J棟(研究棟・医療経営管理学科ほか)
- K棟(サークル等)
- 国際医療福祉大学クリニック(言語聴覚センター・健康管理センター)
- 国際医療福祉リハビリテーションセンター(なす療育園、那須療護園、那須デイセンター)
- L棟(大学院棟)
- M棟(講義・実習棟、介護福祉士コース・視機能療法学科)
- おおたわら総合在宅ケアセンター
- 薬学部棟
- 多目的施設「那須アスリーナ」(武道場、レストラン、弓道場)



東京フィルハーモニー交響楽団により、国際医療福祉大学の校歌「未来への扉」が演奏されて、コンサートは幕を開けた。東京フィルハーモニー交響楽団は、国際的にも高い評価を受けている。指揮は、日本人として初めてウィーン国立歌劇場に出演し、一九九九年から東京フィルの専任指揮者である大町陽一郎氏。『大学祝典序曲』(ブラームス)、『組曲「惑星」より木星』(ホルスト)、『交響曲第九番「新世界より」』(ドヴォルザーク)など、大迫力の演奏が繰り広げられた。また、テレビ朝日「題名のない音楽会21」にも出演しているソプラノ・白木あい氏による『アヴェ・マリア』(シューベルト)などの美しい調べに、聴衆は魅了された。

当日、会場は開学以来お世話になっている方々や本学関係者、教職員・学生など九六〇人でほぼ満席となった。アンコール曲の『威風堂々第一番』(エルガー)に大喝采が送られ、一〇周年を祝うにふさわしい盛大なコンサートとなった。(本校総務課)

ご挨拶
学校法人国際医療福祉大学 理事長 高木邦格

本学が今日まで順調に歩みを進めてまいることができましたのも、ひとえに皆様方のご支援、ご指導によるものと心より厚く御礼申し上げます。

本学は、高い技術と教養を身につけた医療福祉専門職の養成と、その地位の向上を目標に「医療福祉の総合大学」として平成七年に開学いたしました。現在、約四三〇〇人の学生が学んでおります。ここまで反省すべき点もございましたが、社会的に一定の評価をいただいたものと思っております。一〇年の歳月の中で築い

てまいりましたものを礎に、わが国の医療福祉の一層の発展に微力を尽くしてまいれる所存です。今後とも、皆様の倍旧のご支援を賜りますようお願いよろしくお願い申し上げます。

国際医療福祉大学 学長 谷修一

開学一〇年を迎えるにあたり、この一〇年の間に賜りました関係の皆様からのご支援に対し心より御礼申し上げます。教職員を代表してご挨拶を申し上げます。

本学に入学してくる学生は、将来の自分に対する明確な目標をもっています。大学としては、彼らが入学時点で持っている将来の理想や夢を実現し、より確かなものにするために、また卒業にあたっては、より付加価値の高い知識と技術と、そして豊かな人間性を身につけることができるような教育に力を注ぎ、あわせて本学の将来の発展に向けて教職員一同努力してまいります。

皆様には今後とも更なるご指導、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

国際医療福祉大学 総長 大谷藤郎

本学が創立一〇周年を迎えますまでには、関係者、教職員、卒業生、学生の皆さんなど数えきれない多くの方々からご指導、ご援助を賜りました。今日このように大学発展に至りましたのは、ひとえに皆様方のお陰であり、ただただ感謝申し上げます。

開学以来私がこだわってきたのは、病人も障害を持つ人も健康者もお互いに人間として認めあい尊重しあう「共に生きる社会」に尽くすという本学「建学の精神」であります。平成二一年に第一回卒業生が社会に羽ばたかれ、現在、大学院生を含めるとおよそ五〇〇〇人も卒業生・修了生に、全国各地でそれぞれにご活躍いただいていることは慶賀に堪えません。改めて皆様方に感謝の意を表します。

2006年度入学試験日程

入試区分	学部	試験地	願書受付期間 (消印有効)	入学試験日	合格発表日
第2回社会人特別選抜 第2回留学生特別選抜	保健 医療福祉 薬(留学生のみ)	大田原	12.1(木)~12.9(金)	12.17(土)	1.5(木)
	リハビリテーション	大川			
高校推薦 社会人特別選抜 留学生特別選抜 帰国生徒特別選抜	小田原保健医療	小田原	12.1(木)~12.9(金)	12.18(日)	1.5(木)
高校推薦 帰国生徒特別選抜 社会人特別選抜	薬	大田原	12.1(木)~12.15(木)	12.23(金)	1.5(木)
センター試験利用	保健 医療福祉 薬	-	1.4(水)~1.20(金) 【窓口受付:1.23(月)】	個別学力検査等 は課さない 【センター試験】 1.21(土)~22(日)	2.13(月) 2.11(土)
	リハビリテーション	-	-	-	-
前期A	保健	仙台 大田原 東京 大阪 福岡	1.4(水)~1.20(金) 【窓口受付:1.23(月)】	1.30(月)	2.13(月)
	医療福祉 薬	仙台 大田原 東京 大阪 福岡		1.31(火)	
	リハビリテーション	東京 大阪 福岡 大川		2.11(土)	
	小田原保健医療	横浜 小田原 大阪		2.1(水)	
前期B	保健	仙台 大田原 高崎 東京 名古屋	1.4(水)~1.20(金) 【窓口受付:1.23(月)】	2.2(木)	2.13(月)
	医療福祉 薬	仙台 大田原 高崎 東京 名古屋		2.3(金)	
	リハビリテーション	広島 福岡 大川		2.11(土)	
	小田原保健医療	小田原 静岡 名古屋		2.4(土)	
後期	保健	大田原 東京	2.14(火)~2.23(木) 【窓口受付:2.24(金)】	3.2(木)	3.9(木)
	医療福祉 薬	福岡 大川	2.14(火)~2.24(金) 【窓口受付:2.25(土)】	3.3(金)	
	リハビリテーション	小田原	2.14(火)~2.23(木) 【窓口受付:2.24(金)】	3.4(土)	
	小田原保健医療	小田原	2.14(火)~2.23(木) 【窓口受付:2.24(金)】	3.4(土)	

**二〇〇六年度
入学試験のお知らせ**

二月を迎え、入試シーズンも本格化。本学の入学試験は、二〇〇六年度四月に開設予定の「小田原保健医療学部」を含め、五学部一四学科の入試となります。それぞれの学部で出願期間や入試日程が異なりますので、募集要項を必ずご確認ください。

二〇〇六年度のトピックスは次の通りです。

〔大学入試センター試験利用入試〕

- ・保健学部、医療福祉学部に加え、薬学部、リハビリテーション学部で新規導入。 ※出願締切はセンター試験前日消印有効。
- 〔一般入試前期〕
- ・地方試験場を拡充。入試日程、学部によって異なるが、全国一〇カ所で受験可能。
- ・一般入試前期では、同一学部において二回、入試日程の違う学部学科を合わせて、最大六回の受験が可能。

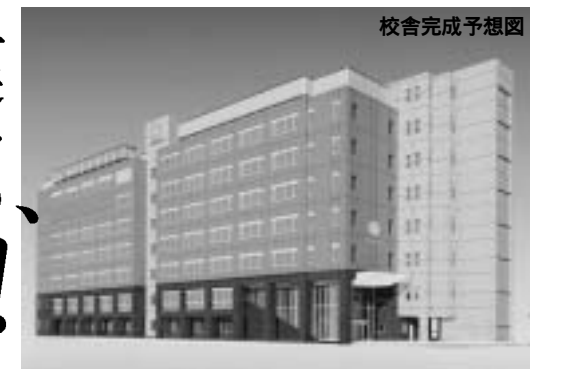
最新情報

薬学部
2006年4月より6年制に。150名 180名に定員増

大学院 [出願随時受付中]
2006年4月新設予定
保健医療学専攻 修士課程助産学分野・視機能療法学分野
博士課程臨床試験研究分野
和田秀樹教授の臨床心理学分野開設準備中。
ホームページ <http://www.uhwh.ac.jp>

小田原保健医療学部、 2006年4月開設!

2006年4月、国際医療福祉大学は、神奈川県小田原市に小田原保健医療学部を開設する。今秋、小田原及び周辺地域で説明会を開催し、受験生の関心を集めた。2006年度の入試日程も決まり、12月からいよいよ願書の受け付けが始まる。



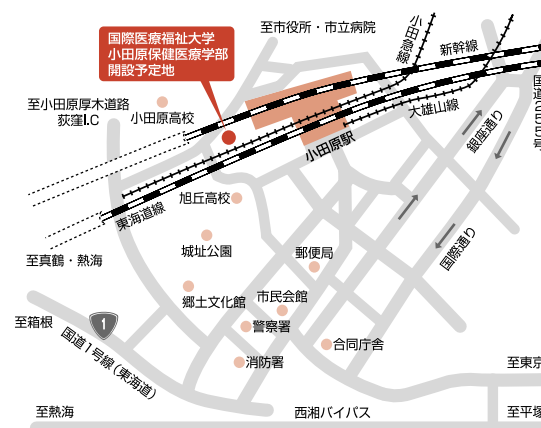
校舎完成予想図

二〇〇六年春、JR小田原駅に隣接して、国際医療福祉大学の五番目の学部として、「小田原保健医療学部」が誕生します。新キャンパスは、小田原駅改札口より徒歩三分、駅の構内といつてもよいほど至近の場所にあり、小田原城も、まるでキャンパスの一部であるかのようにJR在来線の線路を挟んですぐ近くにあります。学生にとって絶好の憩いの場になることは間違いありません。

こうした恵まれた環境のもと、いよいよ新入生の受け入れが始まります。新学部は看護学科、理学療法学科、作業療法学科の三学科で構成され、定員は一学年一三〇人、総定員は五二〇人です。学部と同時に、大学院も開設いたします。本年七月に新病院をオープンした附属熱海病院との連携を密にしながら、栃木本校で培ってきた伝統と実績を継承し、これからのコメディカル分野をリードする優秀な人材を育てることはもとより、地域に根ざした教育の拠点として新たな伝統と文化を創造してゆくとともに、すでに各地で教員や受験希望者を対象とした学部説明会を開催し、いずれの会場も予想を上回る参加者で熱気に溢れたものとなり、本学部に対する期待と関心の高さを実感いたしました。

どうぞ小田原保健医療学部にご期待いただき、皆さまとともに、皆様の温かいご指導とご支援をお願いいたします。そして、新入生の皆さんと小田原キャンパスでお会いできることを楽しみにしております。

小田原保健医療学部 学部長予定者
田中富久子



小田原保健医療学部

定員 看護学科50名
理学療法学科40名
作業療法学科40名

入試 高校推薦・特別選抜 12月18日(日)受付~12月9日)
一般前期A 2月1日(水)受付~1月20日)
一般前期B 2月4日(土)受付~1月20日)
後期 3月4日(土)受付~2月23日)

資料請求 0120-36-5931 (さあむかおうこくさい)

お問い合わせ 0465-21-0361
小田原保健医療学部入試事務室

小田原キャンパス 神奈川県小田原市城山1-2-25



Profile 田中富久子教授
横浜市立大学大学院医学研究科修士、医学博士。前横浜市立大学医学部長。日本神経科学学会監事、日本神経内科学会理事など。

和田秀樹教授から、
受験生へのメッセージ



和田秀樹教授
1960年生まれ、精神科医。東京大学医学部卒、国際医療福祉大学教授。日本初の心理学ビジネスのシンクタンク、ヒデキ・ワダ・インスティテュートを設立。老年精神医学、精神分析学(特に自己心理学)、集団精神療法学を専門とする。著書に『学力崩壊』(PHP文庫)、大学受験勉強法コミック『大学へ行こう!』(小学館)など。第5回正論新風賞受賞。

「受験勉強は必ず役に立つ!」

10月8日、本学は横浜市みなとみらいのパシフィコ横浜会議センターに於いて「和田秀樹講演会&進学相談会」を開催。受験生、保護者など約300名が来場し、進学相談や講演に熱心に耳を傾けた。講演では、本学の和田秀樹教授が「学んだ知識を使える技術へ〜受験勉強が日本を救う〜」というテーマで熱弁をふるった。

「21世紀は知識社会の時代。自分を護る意味で、常に勉強をし続けることが重要となり、頭のよさが求められるようになる」「認知心理学から見た頭のよさとは、問題解決能力を指す。知識が豊富で、幅広い推論、自己修正ができ、別次元から眺め認識するメタ認知が必要となる」と述べるとともに、「得意、不得意を認識し、得意科目をさらに伸ばし、不得意科目を少しでも克服するのが受験勉強のセオリー」「受験勉強は記憶力のトレーニング。情報を選択する能力を養うことができ、役に立たないと思われる受験勉強こそが、将来、社会に出てから必ず役に立つ」と、受験勉強の意義などを力説した。

高校生は、「要領よく勉強することの重要性を学んだので、今後の勉強に是非役立てたい」と、受験勉強への意欲を見せた。(小田原保健医療学部設置準備室)

1 品川まで新幹線で三〇分
古くから城下町、宿場町として栄えた交通の要衝で、現在、新幹線・JR在来線・小田急・箱根登山鉄道などが乗り入れる。新幹線で品川へ三〇分、地理的条件の良さは抜群。

2 豊かな自然、温暖な気候
観光地として有名な箱根や相模湾などの大自然に恵まれ、気候は温暖。

3 小田原のシンボル「小田原城」
一五世紀初頭に大森氏によって築城。後に北条氏、大久保氏などの手に渡り、日本最大の中世城郭にまで発展したが明治三年に廃城。現在、本丸・二の丸の大部分と大外郭の一部が国の史跡に。天守閣・常盤木門・銅門は復元された。

4 歴史と文化の町
二宮尊徳翁の生誕地でもある小田原は歴史と文化の町。小田原駅近くには、北条氏政とその弟、氏照の墓がある。ここにある「幸せの鈴」に願いをかける人は後を絶たない。

5 名物「かまぼこ」と「おでん祭り」
小田原といえば、「かまぼこ」。最近ではデイズニークラクターのかまぼこも登場。毎年十月、かまぼこなどの練り製品を使った「おでん祭り」が開かれ、おでんコンテストなどにおよそ五〇〇〇人が訪れる。



皇太子殿下と雅子様が
じゃんけんしたんだって、

第10回風花祭

a	c	
b	d	e
f	g	
h	i	
j	k	

- a. インディーズバンド「神楽」などのゲストや学生によるバンド演奏や、ダンス部によるステージが行われた。「神楽」は祭囃子の指導もする茨城出身のデュオ。
- b. クラブ、サークルなどの団体が各種模擬店を出店。
- c. 彫刻「日原公大・日原悠子作品展」、「雲を掴むような話」シリーズで、不可能なことに挑んでいる豚が登場した。
- d. チャリティイベント「みちのくプロレス」が体育館で行われ、収益金は地域の福祉施設に寄附された。
- e. 那須アスリーナの武道場では、三遊亭京楽師匠による風花寄席が人気を集めた。聴覚障害の方も一緒に楽しめるように字幕落語で行われた。
- f. 開設したばかりの薬学部ではオープンキャンパスが行われ、薬剤師の体験コーナー等が設けられた。
- g. 「いきいきライフフェスタ・福祉機器展」では、さまざまな福祉機器が体育館に並べられ、試乗や説明が行われた。
- h. 風花祭は地域の方との交流の場でもある。「大田原地区ひまわり共同作業所」や「那須共育学園」などの皆さんは、手作り小物等の模擬店を出店して参加された。
- i. 裏千家茶道部ではお茶会が開催され、部員によるお点前が披露された。

【表紙の写真】車椅子バスケの試合が体育館で行われた。車椅子バスケは漫画『リアル』（井上雄彦作）で注目を浴びている。

第10回風花祭

（〇月一五日（土）、一六日（日）の二日間、大田原キャンパスで「第10回風花祭」が開催された。恒例の「模擬店」「ステージ」「いきいきライフフェスタ・福祉機器展」のほか、「三遊亭京楽師匠の落語」「国際DAY・青木盛久、元在ベルー大使講演」「日原公大・悠子彫刻作品展」「車椅子バスケ」「みちのくプロレス（チャリティイベント）」などバラエティーに富んだ企画で、三五〇〇名もの方々に「来場いただいた。なお初日の風花祭の模様は、栃木放送（ラジオ）で終日伝えられた。」

第一〇回 風花祭

テーマ：「花舞時はなまじり（とき）」10th Anniversary
 大学祭名の「風花」は、那須連山に積もった雪が風で美しく空を舞う様子を表す。
 今年のテーマ「花舞時」は、「風花」をただ白一色の雪ではなく、色とりどりの「華」と捉え、学生一人ひとりの色の違う個性が輝かしく舞う様子を表現した。

第一〇回風花祭実行委員会



栃木放送（ラジオ）に出演する作業療法学科2年の遠藤公美・風花祭実行委員長（中央）と医療福祉学科2年の赤羽宏広（左）。



遠藤公美・風花祭実行委員長（前列中央）は「実行委員一人ひとりの責任感と惜しみない努力、成功させたいという強い思い、それぞれの連携があったからこそ、第10回風花祭を創り上げることができた」という。



国際医療福祉大学のキャンパスライフって？

キャンパスレポート

国際医療福祉大学のキャンパスライフを報告する。10月に行われた大学祭「第10回風花祭」、本学の教育の特色である「臨床実習」、国際的活動のひとつである「海外研修 & 語学研修」の3つを取り上げよう。

「国際DAY」

風花祭特別企画
 元在ベル、在ケニア大使
 青年海外協力隊元事務局長・現参与
 特別講演
 「医療福祉における
 青年海外協力隊の活動」
 青木盛久氏

第二回「国際DAY」が10月一六日、多くの聴衆を迎えて開催された。第一部の学生による海外研修・ボランティア活動報告、第二部の国際協力機構（JICA）青年協力隊員・小池孝枝さん（看護職）のウズベキスタンでの活動報告に続き、第三部で元在ベル、在ケニア大使、青年海外協力隊元事務局長で、栃木県出身の青木盛久氏による特別講演が行われた。
 講演は、現在は参与として青年海外協力隊の強力な支援者である青木氏により、「医療福祉における青年海外協力隊の活動」と題して行われた。

青木氏は、「協力隊は四〇周年を迎え、日本最大のボランティア団体にまで発展し、その原動力は現地で草の根レベルでの支援である。若い隊員の献身的働きは相手国から高く評価されている」と述べ、復興を目指す途上国の首脳から、真っ先に隊員派遣を要請された数々の事例を紹介した。

Profile 青木盛久（あおき・もりひさ）氏

1938年11月生まれ、栃木県出身。63年、東京大学法学部卒業後、外務省入省。90～93年、国際協力事業団（現・国際協力機構）青年海外協力隊事務局長。94年、在ベルー日本国大使。98年、在ケニア日本国大使など歴任。2001年、外務省退官、国際協力機構参与。ベルー大使就任時に、テロリストによる日本大使館占拠で日本人、ベルー人らとともに人質となり、人質解放にご尽力された。ケニア大使就任時には、本学の高木理事長とともにケニア医療技術教育強化プロジェクト・研修会開会式にご出席された。



例を紹介した。「良き人間関係を樹立すること、人材育成が成功の鍵」、また、「継続は力なり」を実感しており、医療関係のみならず、他の職種の間でも連携しなければ良い結果は得られない」と話し、最後に、大切な命を守る医療福祉隊員の働きは重要で、国際協力の大切さを多くの人に伝える活動が、「私のライフワーク」であると講演を結んだ。
 （語学教育センター教授 田中美子）

医療福祉の専門職を育成する本学では、「臨床実習」を重視し、医療福祉の現場で役立つ教育を実践している。多数の実習施設も有する。保健学部看護学科三年の望月希恵さんの実習の様子を報告する。

保健学部看護学科三年

望月希恵

私は、九月二六日から一〇月二二日まで、本学の臨床医学研究センターである国際医療福祉病院で、慢性期の成人看護学実習を行いました。実習中は、脳梗塞後遺症により左半身麻痺、構音障害、嚥下困難を有している患者様を受け持ち、情報収集を行い、看護過程を展開させながら計画したケアを実施してまいりました。最初、患者様は、食事・歩行・排泄・清潔などの日常生活動作（ADL）全般に介助や見守りが必要で、かつ長期入院のため生活リズムが単調な状態でした。情報収集を行う中で私は、現在の患者様にとって最も必要なのはADLの拡大、気分転換であると考え、看護ケアを計画しました。実際には清潔ケア・更衣・食事・排泄時の見守りと一部介助、気分転換のための散歩や昼食の環境を整えました。

この四週間で、ケアを実施し徐々にあります。行動範囲の拡大や、多くの笑顔を見ることができるようになりました。患者様がよい方向へ変化されたこと。



毎朝9時に、患者様のバイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸数）を測定。顔を拭いたり、覆衣の交換も行う。

とは本当に嬉しく、同時に根拠のあるケアがこんなにも結果を導くものだとわかり、実習の手こたえを感じました。それぞれの患者様は病状も性格もそれまでの生活も異なっているため、同じ援助法でもその手技が微妙に異なっています。患者様に対し適切な援助を行うためには一つ一つの行動を見つめ、患者様を深く理解し、私自身が患者様の望むものをしっかり考え描くことが必要であると知りました。しかし私はこの部分が不足していたように思います。現在の患者様については知ることができましたが、それまでの生活背景についてもっとくわしい情報収集ができていれば、多方面から違った援助が行えたのかもしれないと思いました。



お昼には、食事介助を行う。

午後2時からのリハビリテーションに車椅子で送っていく。

メンバーとのカンファレンスを通し、多くの異なった考えや意見を聞くことができ、自分自身を見つめ直し、これからの課題を発見することもできました。ここで学んだことは、この後の実習や就職後の仕事に生かしていきたいと思えます。四週間、お忙しいなか丁寧にご指導くださった病棟看護師やその他医療従事者の方々、先生方には本当に感謝しています。患者様との信頼関係を大切に、常に患者様やご家族の立場に立って接することのできる看護師を目指したいと考えています。

特色ある臨床実習への取り組み

臨床教育委員長・言語聴覚学科科長 藤田郁代

医療福祉の専門職教育において、臨床実習はカリキュラムの中核的位置を占める。講義で学んだ知識・技術を実際の臨床において活用できるようになるには、それを活用する方法と実践的技術を実地で習得することが必要である。その役割を担うのが臨床実習であり、学生は臨床実習を通じて知識・技術を適用する臨床思考能力や他職種と協働する技術等を養い、専門職に一步近づくことになる。

多数の附属・関連臨床実習施設

本学の特色は高度専門職業人の養成を目指すことにあり、これまでにカリキュラムの改編を重ね、臨床教育の充実に努めてきた。また、実習環境については大学附属・関連施設が開学時から多数増え、臨床教育を行う基盤が整ってきた。本学はこの環境を生かし、附属・関連施設において学生に早期から臨床に触れる機会を与え（early exposure）、講義で学ぶ知識・技術を臨床に統合できるようにするとともに、施設と一体となって充実した臨床実習を行うよう努めてきた。

チーム医療・チームケアに対応

これまで各学科はそれぞれの専門分野について臨床教育のあり方を探求し、その完成化を進めてきたが、現在、全学科が協力して他職種との連携に視点を置いた臨床実習に取り組むようとしている。

これは四年生を対象とした「関連職種連携実習」の導入であり、本年度は次年度開講を前にして予行実習を行った。チーム医療・チームケアは医療福祉技術が高度化・多様化する中で臨床現場において強く求められているものであり、現代の臨床現場では各職種の連携なくして質の高い医療・ケアの提供および利用者への全人的アプローチは不可能となってきた。チーム医療・チームケア実習を実施するには、多彩な職種を養成する学科と教育理念を共有する実習施設が必要であるため、多数の大学は本実習の重要性を認識しつつも条件が整わないため着手できないでいる。本学は医療福祉分野の九学科を備え、また充実した附属・関連臨床施設を有しており、このような実習を行える環境にある数少ない大学の一つである。

全国に先駆けた関連職種連携実習

そこで、本学は全国の大学に先駆けて「関連職種連携実習」を実施することになった。

本年度は七月二八日〜八月五日の間、四年生を対象として二施設（国際医療福祉病院、介護老人保健施設マロニエ苑）で本実習を行った。実習生は各職種からなるグループを形成し、対象者についてアセスメントサマリーとサービスマニュアルを協働して作成すると同時に、他職種の臨床への参加を行った。学生は実習過程において他職種への理解を深め、連携のあり方について多くのことを学んだようであった。職種の枠を超えてユニバーサルな視点から利用者に対応できるようにな

つた学生は新時代の医療福祉サービスの第一線の担い手になると同時に、新たな価値観や知識・技術を医療福祉分野にもたらす人材に育つてほしい。本学は今後も挑戦を続け、知的基盤社会を支える高度専門職の育成に努めたいと考えている。

看護学科の実習カリキュラム

看護学科 学科長 中西睦子

看護学科では、さまざまな役割に幅広く対応できるよう、新しい視点や発想でケアに取り組む能力を持った自立した看護職の育成を目指している。看護学科の教育において、臨地看護学実習は最も重要な位置を占める。実習は、一年次の基礎看護学実習、二、三年次の各領域看護学実習（小児、成人、母性老年、精神）、四年次の地域看護学実習へと続く。

基礎看護学実習

病院などの施設の働きを知ること、患者との関わり方を学ぶことがねらい。基礎、基礎、基礎と分かれ、基礎は一年次、あとは二年次に計画される。実習場所は、病院、リハビリテーションセンター、企業、血液センターと実に多様で、これは看護が様々な場所で行われていることを最初に理解するための。

各領域看護学実習

各領域の対象者がかかりやすい病気の

国際医療福祉大学・臨床医学研究センター 国際医療福祉病院（栃木県那須塩原市）

開設 平成10年7月 病床数 206床
 各種指定 管理型臨床研修指定病院、救急指定病院
 施設基準 総合リハビリテーション施設（A）、言語聴覚療法（1）ほか

<大学附属臨床実習施設>
 栃木地区：国際医療福祉大学クリニック
 東京地区：国際医療福祉大学附属三田病院
 熱海地区：国際医療福祉大学附属熱海病院

<臨床医学研究センター>
 栃木地区：国際医療福祉病院、国際医療福祉リハビリテーションセンター、おたわら総合在宅ケアセンター、介護老人保健施設・マロニエ苑、特別養護老人ホーム・栃の実荘、にいなすの総合在宅ケアセンター
 東京地区：山王病院、山王メディカルプラザ、化学療法研究所附属病院
 九州地区：高木病院、柳川リハビリテーション病院、みずま高邦会病院、介護老人保健施設・水郷苑、有明総合ケアセンター、重症心身障害児（者）施設・柳川療育センター、福岡中央病院、有明クリニック

栃木県北地域の基幹病院として、充実した医師と設備による医療を提供。救急医療体制を強化し、小児医療にも力を注ぐとともに、実績を誇る医師による「リプロダクション（不妊治療）センター」、県北で唯一、Cアーム型リニアックを導入した「放射線治療センター」、アスレチックジムや温泉を併設した「予防医学センター」などを開設し、特色ある診療を行っている。

地域看護学実習

地域で生活をしている人々の健康について知り、対象に最も適した援助もしくはサポートの仕方を学ぶことをねらいとする。行政機関での実習と訪問看護ステーションでの実習で、四年次に計画される。看護が病院だけでなく、地域において展開されていることを理解し、看護の役割を予防的観点から捉え、かつ在宅療養のよさや問題点を考える機会となる。特に訪問看護では、病院の看護との違いについて考え、訪問先で臨機応変に対応する判断力を身につける機会となる。

看護学科では、四年間の実習を通して、看護ケアの知識や技術だけでなく他の専門職に関する理解も深め、将来、看護を受ける人々が心から満足できるように看護を行うための基礎能力の育成に力を注いでいる。

本学には、毎年夏に行われる海外研修・活動、笹川記念保健協力財団による国際保健協力フィールドワークフェローシップのほか、学科で実施する海外研修や国内での語学研修など国際感覚を磨くさまざまなチャンスが用意されている。

海外研修・活動

ベトナム・中国・アメリカ・オーストラリア

八月一日から五日までの五日間、二九名の学生がベトナム・中国・アメリカ・オーストラリアで、それぞれに多くのことを学び、貴重な経験をして帰国した。画により内容は異なるが、病院や福祉施設などでの研修やボランティア活動、福祉・保険制度についての講義、ホームステイなどを通じて現地の方々と交流し、文化の違いやコミュニケーションの重要性を感じた。この研修は「海外保健福祉事情」として単位を認定する科目である。

(語学教育センター長 田中美子)

ベトナム

二人の患者様が寝ていた！

理学療法学科二年 杉田麻美
私たちが滞在したホーチミンはバイクが



万里の長城にて

アメリカ

医療福祉の道を選ぼう

医療経営管理学科二年 張 永勝
アメリカの海外研修に参加させていただき、収穫は大きかった。最も幸いだったことは、私が医療福祉の道を選んだことは正しかったと確信できたことである。

なぜかと言いつつ、Richard Miyamotoという講師に出会うことができたからだ。彼は、私と同じ三〇代の日系二世で、大学を卒業してから医療福祉に関係のない会社に就職した経歴をもつ。しかし、ボランティア活動を通じて、他人の特に弱者の役に立ちたいと思うようになった彼は、仕事を辞め、新たな道 医療福祉の道を選んだ。驚いたのは、彼の経歴と私の経歴が全く同じだったことである。

私は本学に入学してから、介護施設でのボランティア活動を続けている。利用者の笑顔は、私の生活をより明るく温かなものにし、勉強の原動力となっている。彼も同様の経験を語った。

とても多く、街の中心は想像以上に栄えていた。しかし、観光客に花を売る女の子や「お金ちょうだい」と後をついてくる子がいたのも事実だ。病院ではベッド不足のため一つのベッドに二人の患者様が寝ていた。発展途上国における貧富の差を目の当たりにして考えさせられることは多かった。

病院実習ではICUや手術の見学、リハビリの補助など貴重な体験をさせてもらえた。言葉が通じない上に、私は実際に患者様と接することが初めてだったため、始めは戸惑ったが、スタッフの方や患者様に助けられ、辞書と身振り手振りでコミュニケーションをとることができ、充実した実習が行えた。

また、ベトナムメンバーは学科も学年も様々で、出発前は本心に心配だった。しかし、振り返ればこの十一人だったからこそ最高の研修になったのだと思う。特に「JAPAN DAY」準備は毎晩遅くまでかかり大変だったが、これがあったからこそ絆が深まり、当日の成功だけでなく研修の成功に繋がったのだと思う。

今回のベトナム研修でたくさんのことを考え、学ぶことができた。この経験を忘れる事なく、これからに生かしたい。

言葉はわからなくても、患者様に対応

医療経営管理学科助教 福永 肇
国立チヨライ病院はホーチミン市の下町、華人街チヨロンにあった。学生のほとんどは初めての海外であったが、喧騒と生活臭ただようアジアの商工業地区のご真ん中に突然放り込まれ、さぞかし驚いたことと思われる。

世界中で進む高齢化に伴って、医療福祉制度は急激に変化しつつある。今後、医療福祉経営の専門家が担う役割はさらに大きくなるだろう。私達の道は「任重くして道遠し」である。自らの理想を実現するために頑張ろうと思った。

米国医療を垣間見る機会

看護学科助教 松澤 和正
米国ロサンゼルスでの研修内容は、米国の医療事情全般に関する詳細なレクチャーと、ロサンゼルス近郊の病院、ナースिंगホーム、ホスピス等の見学・ボランティア実習などが組み合わされ、たいへん中身の濃いものであった。

私にとっては、改めて米国の医療の先進性や合理性、ある種の特長などを垣間見ることでできた貴重な機会となった。学生もそれぞれの専門領域の一線で働くスタッフから直接講義を聞き、指導を受ける機会を得て、目を輝かせながら積極的に学んでいた。また、旅という日常と異なる中で、世界を見、人と関わり、自分を振り返り成長させる時間となった。



研修の修了書授与式

チヨライ病院は病床定数二三〇〇床の巨大病院。驚くのは実病床数が一六三三床入院患者が二〇九〇人という数字(二〇〇四年)。すなわち一つのベッドに複数の患者が寝ている。加えて入院患者数の二・三倍の家族が看護のため病室や廊下にゴザを敷いて住み込んでいる。脳神経外科のICUと一般病棟、心臓外科ICU、放射線室、PT室などで実習指導を頂き、アジアの病院の現場、現実、現物を学んだ。

センターにおいて、およそ二週間にわたる研修を行った。宿泊先は北京市郊外にあるホテルで、お世話になったセンターはホテルから歩いて三分のところにある。センターのスタッフの方はとても温かく迎え入れてくださった。

研修の内容は、それぞれ研修生の学科ごとに分かれて、担当のスタッフのもとで実習を行うものである。詳しい内容はその学科によって異なるが、主に見学、場合によっては実際に患者様に接して評価などを行うことができる。このように、患者様と接する実習を行えることが中国での研修の魅力の一つである。

センターが休みの日に、中国の歴史を学べる場所や文化を感じる場所を観光し、とても貴重な体験となった。日中関係がマスメディアで報じられる中で、全員無事に研修を終えることができた。

中国に興味のある学生におすすめ

作業療法学科講師 澁井 実



小児病院でのふれあい

実際に患者様と接する実習

理学療法学科二年 坂内 肇
私たちは中国の北京リハビリテーション

オーストラリア

現地で見て聞いて触れ合っ

理学療法学科二年 入江 容
今回の研修では、保健福祉制度の日本との違いを知るという目標を果たすことができた。オーストラリアでは、政府からの助成金が少ないため、数多くのボランティア活動が公的医療や社会保障など幅広い分野での手助けになっていた。

日本の遅れていること、これから新しい分野として日本にも定着していくと予想されることなど多くのことを学んだ。現地で見て、聞いて、触れ合ってみないと分からないことがあると分かった。来年もオーストラリアに限らず、海外研修に参加したい。

医療福祉の先進国たるゆえん

放射線・情報科学科講師 小池 貴久
高齢者の比率が日本のそれよりも高いオ

観光では、北京雑技団(いわゆるサーカス)・京劇観賞をはじめ頤和園・盧溝橋の戦争記念館・天安門・故宮・万里の長城など北京市内・郊外の多くの名所旧跡を案内していただいた。また何よりの楽しみが、毎昼・夜のご馳走であった。センタースタッフのわれわれに対するやさしさ・あたた

オーストラリア研修では、ホームステイ、語学研修とともに、医療福祉制度に関する講義や医療施設などの見学を通して、高齢化社会を支える様々な社会資源をもち、医療福祉分野でのボランティア活動がビジネス以上の成功を上げている実情を垣間見て、医療福祉の先進国と言われているゆえんを感じた。

異文化での貴重な体験は、学生にとって一生の宝となったに違いない。出発する前の不安そうな表情が、帰国時には充実した表情になった。この経験が、グローバルな視点で物事を見るきっかけとなることを信じている。



授業風景

笹川記念保健協力財団による国際保健協力フィールドワークフェローシップ

国際化を考える～フィリピン研修を終えて
保健学部 看護学科二年 鈴木 章子
他大学医学生13人と過ごしたフィリピンでの11日間は、予想以上に濃厚でハードなものでした。個性豊かで背景も違う私達が丸となって充実した日々を送れたのは、団体生活の中で自分自身の役割を果たそうとする自主性と、お互いの個性を尊重する協調性があったからだと思います。このことは小さく身近なことでありながら、国際化につながる一歩だと思います。海外で文化も言葉も違う人々と付き合い、何かを成し遂げるには、謙虚にお互いをよく理解し認め合うことが必要です。国際化も「人対人」であることを改めて感じた研修でした。

- 2005年8月2日 国立国際医療センター
- 3日 国立療養所多摩全生園・高松宮記念ハンセン病資料館
- 4～12日 フィリピン・マニラおよびセブ(WHO西太平洋地域事務局・JICAフィリピン事務所、フィリピン保健省、ハンセン病施設、NGO活動、フィリピン大学他)

●国際保健協力フィールドワークフェローシップ事業は、笹川記念保健協力財団(理事長・紀伊国三本学名誉教授)により、日本の医学生等に発展途上国の保健医療の実態を学ぶ機会を提供し、国際保健協力への理解を深めることを目的としている。企画実施委員長は本学の太谷藤郎総長。

お揃いのTシャツで焼き鳥屋(写真上)、
リハ学部生によるバンド登場(写真下)



大川キャンパスレポート

第二回



リハビリテーション学部
理学療法学科 学科長
田原弘幸

リハビリテーション学部は、今年四月に開設されました。四月九日の入学式、オリエンテーションに続いて、前期授業が始まり、そして、背振山中の少年自然の家で開催された宿泊研修では親睦を図り、あわただしくもアウトホームなキャンパスライフがスタートしました。五月に大運動会、六月には学生にとって初めての臨床体験となる基礎実習が行われました。これは、臨床医学研究センターである高邦会グループの病院・施設との協力のもと、各施設の業務および役割を理解し、理学療法士が関わる疾患や障害をもつ対象者についても理解することなどを目標に実施されました。実習前後、総括の発表、デイスカッションを行いました。

大川キャンパスで初めての「月華祭」

七月は学生にとって最初の開門である前

この研修に参加するまでは、英語を話すことに抵抗があった。正しい英語でないし相手に伝わらないかと思っていただけだ。しかし、外国人のスタッフの方々には優しく、私たち研修生が分かりやすいように簡単な英語で、はつきりと分かりやすいように気を配ってくれた。発音の授業は一番自分のためになった。

英語話集中キャンパスポートの「入らない留学」
福島県大柴村にあるBritish Houseの施設を利用して、英語コミュニケーションの実践訓練を行う「英語F」の授業である。初めての試みに計三名が参加した。

作業療法学科一年

村岡佳織

ブリティッシュヒルズに研修に行き、生の英語に触れることができた。レッスンはゲームやクッキング、アロマセラピーを習い、オリジナルの入浴剤を作ったりするなどバリエーションが豊富だった。

この研修に参加するまでは、英語を話すことに抵抗があった。正しい英語でないし相手に伝わらないかと思っていただけだ。しかし、外国人のスタッフの方々には優しく、私たち研修生が分かりやすいように簡単な英語で、はつきりと分かりやすいように気を配ってくれた。発音の授業は一番自分のためになった。



フリータイムもエンジョイした。パドミントンをしたり、プールで遊んだり、散歩をしたり、夜はバブで外国人スタッフと話したりした。中でも特に印象に残っているのは散歩である。自然道には熊やいたちなどの動物が出るので少々危険であるが、森の中を歩いて展望台まで行った。展望台からは周りの山や湖を見ることができ、とても素晴らしいかった。

放射線・情報科学科一年

土屋宏彰

以前から「British House」に行ってみてみたいと思っていたが、今回やっと実現した。初めての来で驚いた。British Houseは日本にあるのに、まったく別世界にいるような感じがしてとてもすばらしかった。すばらしいのは建物だけでなく、庭もある。特に、夜になるとライトアップされる庭は美しい。部屋もイギリス式で、特にお風呂は日本のスタイルとまったく違った。

看護学科一年

寺田未来

ブリティッシュヒルズに行く前は、一歩中に入ったら英語以外話することができないと聞いていたので、きつと大変だろうと思ってた。しかし、実際はとても楽しく英語が苦痛と感じなかった。私が話した英語が通じて、その答えや反応が返ってくるのがとても嬉しく、もっと英語で話したいと思うようになった。すれ違う時に、言葉を変えたりすることが最初はぎこちなかったが、慣れていくうちに自然にできるようになった。

定期試験が行われ、大学での初めての試験に戸惑いながらも、なんとか全員通過できました。試験が終わると、大学を地域の人々に知っていただくために市民にご参加いただいた夏祭りを開催。終了とともに夏期休暇突入。そして後期授業の開始と同時に第一回の大学祭準備へと、多忙な日々が始まりました。先輩のいない自分たちだけの力で手探りの準備でした。甲斐があつて、不安ながらも大学祭当日を迎えることができました。

「月華祭」と冠して二〇月二九・三〇日の二日間、大川キャンパスにおいて初めての大学祭が開催されました。「月」を学生、「地球」を対象者の方々としたとき、両者はそれぞれに欠くことのできない存在で、学生の努力と対象者の方々がもたらしてくれるものが相まって、社会に貢献できる優れたPT(理学療法士)・OT(作業療法士)が生まれる、そんな輝く将来を「華」とみなし、「月華祭」と名づけられました。

第一期生の熱き想いで「伝統始動」!

実行委員長の沖侑太郎君の開会挨拶に始まり、バンド演奏、のど自慢大会、ビンゴ大会、ミス?(女装)コンテストなどの多くの出し物には拍手喝采! 大学の特長を生かした障害体験や作業活動体験には、親子連れで挑戦している光景が見られました。また、多くの方が「焼き鳥、焼き鳥、一口ツケ、フライドポテトなどたくさんメニューを味わおうと屋台模擬店に集まり、口いっぱい頬張り、笑顔を見せていました。エンディングは実行委員のスタッフが手話による振り付けで「世界に一つだけの花」の大合唱を披露してくれました。これはなが

なかの感激ものでした。大学入り口の誘導駐車場整理などの裏方の仕事も行い、一名の学生全員参加の大学祭となりました。学生諸君は、リハビリテーション学部の第一期生として発展の先頭を担っています。パオニアとしての熱き想いは、必ずやリハビリテーション学部を後輩に誇れるものにしてくれるでしょう。大学祭のテーマ「伝統始動」はこのような想いを反映しています。一人ひとり「たった一つの花」ですが、それらが集まれば大きな力を発揮していい仕事を成し遂げられるでしょう。全員が力を合わせ、大学祭は成功裏に終わりました。学生たちの安堵と誇らしげな笑みは、われわれ教員の願いを確信に変えてくれました。

「がんを知る」一〇日展「開催」

がんについての理解を深めてもらおうという催し「がんを知る」一〇日展(国際医療福祉大学監修)が、八月五日から四日まで、福岡国際医療福祉学院・天神キャンパス(福岡市中央区長浜)にて開催された。この催しはこれまで東京等で行われ、好評を博したものが、九州では初めての実施となり、期間中、三五〇〇人が会場を訪れた。

また会期中、国際医療福祉大学・高邦会グループ・高木病院の山本匡介病院長をはじめ中川恵一(東京大学医学部附属病院放射線科助教)などが講演を行った。中川教授は、日本人のがん患者の増加は、高齢化と食生活の欧米化が原因と語り、これからは治療の必要性と共に、緩和ケアの重要性が高まると述べた。治療の際の患者の痛みに関心が薄い医師の多い点も指摘。「人生の豊かさは時間ではなく、その中身」と、ユーモアたっぷりに語った。参加者からは「がんをポジティブに捉えて生きていくことも大事なのでは」という感想も聞かれた。

10周年 DATA 国際医療福祉大学～わが国初の「医療福祉の総合大学」～
お問い合わせ:0287-24-3200(入試センター)

国家試験の高い合格率と抜群の就職実績を誇る本学では、「チーム医療」の担い手を目指す学生たちが学んでいます。

【学部学科構成】	【国家試験合格率】 (内は全国合格率)
＜栃木県大田原キャンパス＞ 保健学部(看護学科100名、理学療法学科80名、作業療法学科80名、言語聴覚学科80名、視機能療法学科40名、放射線・情報科学科100名) 医療福祉学部(医療経営管理学科100名、医療福祉学科140名) 薬学部(薬学科180名) * 2005年開設、2006年度から6年制に	看護師 96.6% (91.4%) 保健師 76.5% (81.5%) 理学療法士 100% (94.9%) 開学以来7年連続 作業療法士 97.9% (88.4%) 言語聴覚士 89.5% (55.8%) 診療放射線技師 86.4% (71.7%) 社会福祉士 69.2% (29.8%) 精神保健福祉士 95.5% (61.3%)
＜福岡県大川キャンパス＞ * 2005年開設 リハビリテーション学部(理学療法学科40名、作業療法学科40名)	【求人数】 就職希望者1人あたり求人数 : 60.6人 2005年度総求人数 : 43,567人 2006年度大学・大学院新卒者に対する求人数の全国平均は1.6人の予想(リクルート調べ)
＜神奈川県小田原キャンパス＞ * 2006年開設予定 小田原保健医療学部(看護学科50名、理学療法学科40名、作業療法学科40名) 人数は定員。	

理学療法学科 「オーストラリア研修2005」

先生から 理学療法学科助教授 齋藤昭彦
学生から 理学療法学科4年 葛山元基

2001年にアメリカで起きた同時多発テロ事件の翌年から中止されていた理学療法学科のオーストラリア海外研修が、今年から再開されました。9月6日～11日に4年生を中心に計31名が参加し、オーストラリアのゴールドコーストで有意義な日々を過ごしました。プリズベンにあるクイーンズランド大学を訪れ、理学療法学科の授業を体験し、アカデミックな雰囲気の中で生きた英語に接する機会を得られたことは、将来、国際的な視野で活躍する理学療法士になるための貴重な一歩となりました。また、オーストラリアでの高木邦格理事長との懇談会は、4年生にとって忘れられない思い出となりました。

高木邦格理事長(前列右から2番目)を囲んで

トピックス

TOPICS

理学・作業療法功労者に 厚生労働大臣表彰

一〇月二八日、日本理学療法士協会並びに日本作業療法士協会設立四〇周年記念式典・祝賀会が、ホテルニューオータニにて盛大に行われた。この式典において、長年理学療法業務および作業療法業務に功労があった者への厚生労働大臣表彰が行われ、本学の丸山仁司教授（日本理学療法士協会副会長）、藤沢しげ子教授、高橋精一郎教授が理学療法士として、また作業療法士では、杉原素子（日本作業療法士協会会長）、古川昭人の両教授がこの賞を受けた。

（作業療法学科 学科長 杉原素子）



左から、藤沢しげ子教授、丸山仁司教授、杉原素子教授、古川昭人教授、高橋精一郎教授。

大学院・田中繁教授に 経済産業大臣表彰

一〇月二三日、本学大学院の田中繁教授が、平成一七年度工業標準化事業において経済産業大臣の表彰を受けた。福祉分野の標準化活動（JIS及びISO）の推進及び産学連携による標準化推進体制を構築し、福祉援助工学の第一人者として、中小企業が主体の業界への技術的指導を率先して行った功績が称えられた。

（東京事務所出版広報室）

作業療法学科・森田講師に 飯田賞奨励賞

義肢装具学会が一〇月二九日に行われ、本校作業療法学科の森田千晶講師が二〇〇五年度飯田賞奨励賞を受賞した。日本で初めて米国で義肢適合士の免許を取得した飯田卯之吉先生の功績を称えた賞だ。研究テーマは「筋電義手の開発と作業療法」。筋電義手は従来の義手の数倍も性能が良いのに日本人には大きすぎるため、義肢装具学会と人間工学研究者とともに日本人の体格に合った利便性の高いものを開発しており、その研究が奨励された。

（作業療法学科教授 菅原洋子）

栃木県病院薬剤師会が 薬学部を視察

栃木県病院薬剤師会による本学薬学部棟の見学会が、八月七日に行われた。この見学会は、地元の栃木県病院薬剤師会

施設参加があり、一七名が集った。 『パソコンを使って文献検索やデータ分析を体験してみよう』というテーマで、

本学の堤かおり講師が『看護文献へのアプローチ』と題し、看護研究を行う上での文献へのアプローチの必要性や注意点を示しながら、文献検索の具体的な方法や課題を説明した。次に、荒井洋子助手が基本的なデータの取り扱いや操作法を示したあと、演習を行った。

今後、「ともに学びあう」をキーワードに看護学科として地域に貢献したい。

（看護学科講師 阿部智恵子）

言語聴覚センターで 第四回小児秋季セミナー開催

大学クリニックの言語聴覚センターで

は、一〇月二二日に第四回小児秋季セミナーを開催した。

言語聴覚学科の畦上恭彦講師による「子どもたちの心とこばを育む 生活の中で大切にしたいこと」、言語聴覚センターの遠藤重典講師による「言語聴覚センターにおける評価と指導」、言語聴覚学科の田中裕美子助教授による「学習障害児の理解と支援」と題した講演が行われた。県内の学校・幼稚園教諭、保育士、言語聴覚士、本学学生など二二〇名の参加があり、講師の豊かな経験にもとづいた、具体的な話に耳を傾けた。

教育・保育に携わる方々や保護者から、子どもの発達や対応法などについての学習ニーズは高く、今後も地域との交流を図っていきたく考えている。

（言語聴覚センター 金子忍）

世界に生きる日本の開業助産師の技 看護学科4年(助産選択生) 大根田恵

去る7月14日、助産学授業の一環として、外来講師毛利多恵子先生の講義を受けました。毛利先生は助産師で、聖路加看護大学修士課程を終了後、聖路加看護大学において助産師教育に携わっていました。阪神淡路大震災を機に開業助産師となり、お母さんである毛利種子先生と共に地域で信頼される助産師として活躍されています。

一方、JICAの母子保健専門家としてブラジル、ボリビア等の海外において、現在も日本の助産師の技を教えているらしいです。ブラジルでは帝王切開が多く、女性達は自分で産むという経験がなかったそうです。そこで、人間的なお産を取り戻そうと、自然出産のすばらしさを伝える活動を始められました。具体的には、お産の現場の担い手である助産師や看護士に、産婦に寄り添うケアの方法をトレーニングされたそうです。陣痛で苦しむ産婦の側について産痛軽減のためのマッサージをしたり、自然出産の助産方法を教えたりして、お産のケアの質の向上のために活動されたことをお話していただきました。

講義を受けて、私達も世界に目を向け、出産を通してのちの尊さや自然出産のすばらしさを伝えていける助産師になりたいと思いました。講義のあと、私たち助産学専攻の学生は8月に毛利助産所（神戸市）で実習をさせて頂きました。種子先生や多恵子先生の助産所での実際のお仕事を拝見し、世界に誇れる日本の助産師の“心と技”に本当に感動しました。

の方々に、北関東で初となる本学の薬学部を知っていただくとともに、最先端の薬学教育の現場を見学していただく目的で開催された。参加者は同薬剤師会会員の方々とその家族の約一〇〇名であった。伊賀立二薬学部長による本学薬学部の概説のあと、四グループに分かれて三階の模擬保険調剤薬局、模擬病院薬局を中心に見学した。また、本学教員の各専門分野の施設も案内した。

今回の見学会には、今後、本学学生が臨床実習を行う際の受け入れを予定している施設の方々も多く出席され、本学の薬学教育を知っていただく良い機会となった。

（薬学部教授 角南明彦）

医療福祉学科「きょうされん」 全国大会をサポート

九月二二、二三日の両日、共同作業所の全国組織「きょうされん」の第二八回全国大会（実行委員長・大谷藤郎本学総長）が、全国から二〇〇〇人が参加して宇都宮で開催された。

本学からも同大会の運営ボランティアとして、医療福祉学科一年生一六〇名全員が参加した。事前に車椅子介助等の研修が行われ、学生は二日間に分かれて、全体運営と分科会運営及び県内日帰りツアーの運営をサポートした。雨の中での机運びや車椅子介助となったが、事故等もなく無事に活動を終えた。学生は「貴重な学びの場になった」「また活動したい」と口々に感想を述べ、学生にとって貴重な体験の場となった。

（医療福祉学科教授 小林雅彦）

告知板

大学院入試・学内推薦、卒業生も対象に
大学院の「学内推薦入試」に、卒業生も出願できるようになりました。入学金は免除となります。一八年度は、大田原、東京、熱海、福岡、柳川（大川に移動予定）のキャンパスに加え、小田原駅前サテライトキャンパスを開設、助産学分野も開設予定です。（要別途問い合わせ）研究や臨床の場でのステップアップに、大学院をご活用ください。（本校入試課）

【学内推薦概要】
修士課程保健医療学専攻
修士課程医療福祉経営専攻
条件
本学を卒業した者または卒業見込者で学科長の推薦状を得られる者。
修士課程保健医療学専攻
本学大学院修士課程を修了した者または修了見込者で、研究指導教員の推薦状を得られる者。

**第10回学長杯
スピーチコンテスト
開催**
英詩の朗読、Poetry
Recitation Contest
12月14日(水) 18:00 ~ 19:30
F101 教室
自分の好きな英詩を選び、感情をこめ、美しい音の響きに託して表現し、詩の心を聴衆に伝える試みです。感動を伝えてください。
(語学教育センター長 田中美子)

平成一六年度学内研究費 研究発表会開催

平成一六年度学内研究費による研究発表会が、七月二九日、薬学部棟の教室及びホールにて開催された。口頭発表八題、パネルセッション三八題、資料参加一六題、計六二題の報告があった。例年になく多い一四九名が参加して活発な質疑がなされ、本学の研究活動への関心の高さを示した。

（本校教務課）

平成一七年度教員研修会開催

平成一七年度の教員研修会が一〇月一七日、本校にて開催された。「教育評価のあり方」を主題に、第一部では、「教育評価をめぐる今日の論点」と題する寺崎昌男氏（東大名誉教授、現立教学院本部調査役）の講演、第二部では、シンポジウム形式で各学科からの報告が行われた。各学科で抱える問題や学科間の考え方の相違が明確になり、活発な議論が行われた。教員のほか、近隣の関連施設職員も参加し、一六五名の参加があった。

（本校教務課）

看護学科公開学習会開催

九月三日、本校SL教室（コンピュータールーム）において、看護学科による公開学習会を開催した。県北はじめ、県南など遠方からも医療・教育機関など24

「IUHWボランティアセンター」開設

一〇月一日に、L棟一階書籍売店の隣りに「IUHWボランティアセンター」を開設しました。毎週月曜から金曜まで、一〇時から一九時までオープンしています。コーディネーターとして、本学卒業生で、九月まで宇都宮市社会福祉協議会でボランティア相談員をしていた郡司京子さんが着任しました。学生もスタッフとしてセンターの業務に携わります。

センターは、大学のボランティア委員会が学内や地域のボランティアグループ、社会福祉協議会と連携し、学生のボランティアに関する気軽な相談の受付・斡旋、地域からのボランティア養成の窓口業務や連携、大学関連病院や福祉施設のボランティア・ニーズの調査・導入開発、定例のミニ講座や勉強会の開催を目的に運営しています。楽しい企画も考えています。ぜひご利用ください。

（ボランティア委員会委員長 鈴木五郎）
電話：〇二八七（二四）三七一九
一シハミナイク（西へ皆行く）
メールアドレス：volunteer@iuhw.ac.jp



コーディネーターの郡司京子さん。

附属病院

国際医療福祉大学附属熱海病院

第一七回院内学術懇話会開催

九月三〇日に第一七回院内学術懇話会が開催され、職員約一〇〇名が参加し、活発に意見が交換された。演題は次の通り。

- 1. セロトニンと末梢循環 (三菱ウエルファーマ株式会社)
2. ICT委員会からの報告ーMRSA検出印の使用状況と今後の対応策 (院内感染予防委員会 ICT)
3. 当院で初めて経験した薬剤溶出性スチラント (CyberStent) 留置症例 (循環器内科・重政助教 小林助教、生駒講師、岡田医員)
4. 死亡症例検討会(泌尿器科・栗山教授他)
5. CPC昏睡・四肢野の除脳固縮状態で緊急入院した七八歳女性例 (神経内科・玉城教授、病理学・北村教授)

第八回公開講座開催

- 1. 求められるのは前向きな気持ち (都島基夫教授(糖尿病・循環器))
2. 脳卒中・転ばぬ先の杖、転んだ後の杖 (高梨裕助助教(脳神経外科))
3. 老化から朗化へ 堤邦彦教授(精神科)
4. 寝たきりになる原因 予防と対策 (林輝明部長(リハビリテーション部))
5. 認知症とケア 大塚照子(看護部)
以上、演題と講師。(総務課)

施設インフォメーション

附属病院

国際医療福祉大学附属三田病院

リスクマネジメント研修会開催

十月五日、三田病院にて職員を対象にリスクマネジメント研修会が開催された。本学大学院非常勤講師であり、横浜市立大学医学部教授の橋本進先生が、組織活動としての医療安全をテーマに組織として医療安全を確保するには職員一人一人の安全意識の向上が大切であるなどと講演された。質疑応答は多岐に渡り、職員の医療安全への認識が深まった。より活発に医療安全に取り組んでいきたい。

学術委員会主催 第五回研修会開催

九月三〇日に第五回研修会が開催され、「トラベルメディスン」をテーマに海外旅行帰国者を受診する際のポイントとしてマラリアなどの感染症につき、当院予防医学センター医師で本学教授の楽得康之先生が講演した。海外への渡航者は増加を続け、港区には外国人居住者も多く、医師会の先生方も熱心に耳を傾けられた。

池田徳彦教授が臨海消防署より表彰

呼吸器センター副センター長で本学教授の池田徳彦先生が、八月二日、大江戸線月島駅に停車中の地下鉄で倒れた男性に心臓マッサージを行い、その救命活動を臨海消防署より表彰された。(総務課)

外来医師担当表 平成17年11月14日現在

Table of outpatient doctor assignments for Atami Hospital, organized by department and day of the week.

1 第1・3・5金曜日の午前の診療となります。
2 皮膚科午後診療は、原則予約制です。
3 乳児健診は全曜日の14:00-15:30、予防接種は火・水曜日の14:00-15:30に行います。(予約制)
土曜日午前の1診は肝臓・消化器外来となります。
4 耳鼻咽喉科外来の月曜日は耳鼻咽喉科外来、水曜日午後はめまい・難聴外来、全曜日午後はめまい外来で予約制です。
5 婦人科火曜日・金曜日の午前受付は原則11:00までです。水曜日と木曜日の午後は原則予約制です。
6 3名のうち、手術対応でない医師が外来を行います。
7 泌尿器科の午後は検査予約患者優先のため、一般診療の方はお待ちいただけます。
8 精神科の午前中の受付は10:30までです。
9 整形外科の午後の診療は原則予約制です。
10 産婦人科：林先生の月・火・金・土曜日の外来は予約制です。水曜日は初診外来です。
11 乳腺外来は第2・4金曜日の午後(14:30-16:30)のみで予約制です。

9月より、歯科口腔外科を開設しました。

外来医師担当表 平成17年11月1日現在

Table of outpatient doctor assignments for Mita Hospital, organized by department and day of the week.

診療受付時間(月～土)
午前8:30～11:30
午後12:30～16:30

国際医療福祉大学 附属三田病院
電話03(3451)8121

- 1 外科の水曜午前の折口Drは、専門外来(血管外科：静脈・むくみ)となります。
2 脳神経外科金曜午後の専門外来は14時からの診療(予約制)となります。
3 整形外科第4水曜午前須田Dr(ひざ)は予約制です。
4 整形外科第4金曜午後柳本Dr(股関節)は予約制です。
5 眼科の火・土の予約受付は15:00までとなります。
6 耳鼻科月・水午前の西山Dr、水・金午前の渡邊Drは10:00からの診療となります。
7 耳鼻科水曜午後の倉島Dr(めまい外来)は15:00からの診療となります。
8 皮膚科水・木午後のレーザー治療は完全予約制です。
9 歯科の初診受付は月～金午前11時までとなります。
10 小児科の土曜午後は、第1根本充Dr、第3・4根本しおりDr、第2・5三上Drが担当します。
11 小児科の火・水・木の午後は健診/予防接種が終了後、一般の診療を受け付けています。
12 小児科の専門外来は、第3水午後荒木Dr(神経)、第1水午前土井Dr(循環器)です。
13 精神科の土曜日は完全予約制となります。
14 リハビリテーション科は完全予約制です。
15 呼吸器科の土曜午前は、池田Drと林Drの交替制です。
外科は予約診療時間帯でも、耳鼻科倉島Dr・皮膚科は優先予約ですが、予約外でも、乳腺センター・頭頸部腫瘍センターは手術予定日でも、受診可能な場合がありますので、事前に電話でお問合せ下さい。
外来担当医は諸事情により変更になる場合があります。

国際医療福祉病院

一八年度から後期研修医の募集を開始

国際医療福祉病院では、平成一七年四月から、初期臨床研修制度に従って、二人の臨床研修医が研修を始めています。この新制度は、基本的な医師としての知識・技術が、これまでの医学部の教育システムでは不十分であるとの観点からつくられたものです。当院もこれに賛同し、患者様の持つ問題に対してきちんとファーストコンタクトができる医師の育成を目指して取り組んでいます。

全人的な医療の習得という目標を達成するには、当然、精神心疾患、リハビリテーション、在宅や保健所関係の仕事の経験も含まれてきます。これは今までも大学病院等で同様の研修が行われていたが、ここまで広い領域の研修はこの施設も初めての経験です。大学病院ほどの規模を持たない私どものような一般病院は小回りが利く利点を生かしますが、すべてを一病院で網羅するのは大変です。当院では、精神疾患の研修のみ、那須高原病院にご協力をいただく予定です。

一八年度は五人の臨床研修医が、新たに当院で研修を開始する予定です。すべてを網羅した研修がこの研修医数でも可能ですが、この多岐にわたる研修では、数的・質的に、必ずしも当院だけでは魅力的には行えないことも考えられます。そこで、特徴ある病院を数多く持つ私たち国際医療福祉大学・高邦会グループでは、臨床研修委員会を立ち上げ、グループ内の病院が連携し

て魅力ある研修の場を設けることにいたしました。初期研修だけでなく後期研修の場もグループとして提供しようと、一八年度月から、三〇ほどのグループ医療福祉施設のうち九施設で後期研修医の募集を開始いたします。

当グループの特色を生かした後期研修のプログラムには、専門医を取得するための「専門医コース」と、高度な専門技術を取得するための「スキルアップコース」があります。基本的には一つの病院で研修を行います。希望がある場合、全国三〇〇〇名、約五〇〇名の医師を擁する当グループ内の病院で留学研修を行うことができます。研修期間は三年以内で、研修終了後は、グループスタッフ医師、大学教員など多様な進路を用意しています。当院でも積極的に協力し、臨床研修のさらなる充実を目指していこうと考えています。

さて、この研修制度にも関係し、全国で医師不足が叫ばれていますが、栃木県も例外ではなく、当院がある東北地域は特に深刻です。当院は今年、栃木県で唯一、小児科医、産婦人科医が増えた病院ですが、この問題を栃木県全体の問題として捉えています。当院は昨年より全国のセミナーに参加し、研修医募集を行っています。今年も、栃木県知事、自治医科大学長も参加したセミナーで、県と協力し、佐藤院長が率先して医師募集を行いました。これからも医師育成に力を入れていきたいと思っています。

国際医療福祉大学関連病院ネットワーク <http://www.hnetnetwork.iuhw.ac.jp>

山王病院

海外からの視察訪問団の受け入れ

山王病院は、所在地が東京都心の交通の便の良い青山・赤坂地区にあり、同地域に多数の大使館や外資系のオフィスがあることから、外国の方の外来患者数が多い上、各国からの使節団、研修団体、私的訪問者の受け入れも非常に多い。

まさに山王病院は、世界各国からの来院者を迎えている国際的な病院である。医師をはじめ看護部、診療技術部、事務職の職員も、さまざまな国の方と接している。当院の患者様の中には、「世界をまたにかけて活躍している。患者様も多く、ご自身の受診科について、「内科はアメリカの 病院の 医師と山王病院の 医師にばかり、外科はイギリスの 医師とこちらの 医師にかかっている」というような方も少なくない。

院内では、習慣、文化的な背景に配慮することはもちろん、食事の献立に際してもご要望を伺うのは当然になっている。事務部CS課（Customer Service）内にあるメデイカルクラブ事務局には、外国人対応の職員も複数配置されており、通訳や翻訳、相談受付、入院説明、来客対応等、英語を中心に業務を遂行している。

最近の海外からの訪問団については、一〇月六日のインドネシア共和国労働移住省局長クラス一行の来訪が挙げられる。厚生労働省大臣官房国際課からの受け入れ依頼であった。一行の来日目的は、「日

本國への看護師派遣計画に関する会議」が一〇月一日から開催されるのに先立ち、日本の病院の診療体制、看護師の業務内容について把握することであった。ちようどイスラム教の断食期間に当たっていたが、日中は一切の飲食を絶つておられたが、具体的に院内を巡つての説明時には、非常にエネルギーッシュに病院業務の流れ、設備、管理、人的な動きについて質問をされ、予定時間をはるかに超えた。また、当院の殆ど個室であるホテルをコンセプトにした病室の見学の際には、「これが病室とは信じられない。まったくホテルのスイートルームと変わらない」と、感嘆の発言も多かった。また、病棟でのナースステーションにおいては、患者様への配慮や機材の配置について熱心な質問が飛び交った。リスクマネジメントに対する意識と感染対策については、熱心にメモをとる姿もあった。

当院への来訪者は実にさまざまである。常に世界を視野に入れた医療のあり方を考え続けていきたい。（山王病院CS課）



病室を見学するインドネシア視察団

臨床医学研究センター（九州地区）

介護老人保健施設 水郷苑

医療法人社団高邦会 介護老人保健施設水郷苑は、平成五年九月、北原白秋生誕の地である柳川市に、入所一〇〇名（短期入所二名、痴呆加算床二床）、通所一〇名で柳川・大川地域初の老人保健施設として開設しました。

平成七年四月、柳川市より在宅介護支援センターの業務委託を受け、在宅の寝たきりの方、独居の高齢者やその家族に対し、在宅介護等に関する相談に応じています。包括的ケアサービス施設、リハビリテーション施設、在宅復帰施設、在宅生活支援施設、地域に根ざした施設であることを水郷苑の基本理念として、職員一同努力を重ねております。

ここで、今回の介護保険改定について触れたいと思います。

今年七月一四日、一〇月から「居住費」と「食費」を介護保険の対象外とする介護報酬改定案が社会保障審議会・介護保険給付部会で諮問・答申されました。

所得の低い方（第一段階・第二段階・第三段階）には負担の限度額を設定し、施設に基準費用額と負担限度額の差額を保険給付で補つ仕組みが新設されました。

今回の改定は準備期間が短く、福岡県内の各施設において、居住費・食費の価格設定額の利用者・ご家族への説明が遅れました。水郷苑で八月初めに利用者本人・家族に一〇月改定による自己負担増に対する意向調査のアンケートを実施し

た結果、入所者九六名の内七名が施設から退去意向であることが判明しました。

この改定は介護の施設から在宅への大きなシフトであり、在宅への流れが加速するものと思われれます。高邦会グループの在宅サービスも今以上に拡大していきたいと思えます。なお介護保険改定のポイントをまとめました。

（医療法人社団高邦会事務局長 松田健一）

介護保険改定のポイント

「居住費（滞在費）」の見直し

居住費の範囲（利用者負担のもの）
多床室（相部屋）…光熱水費相当
従来型個室など…室料＋光熱水費相当
「食費」の見直し

食費の範囲

利用者負担…食材料費＋調理費相当
保険給付…栄養管理費用（栄養管理体制加算、栄養マネジメント加算）
栄養管理体制加算（新設）
12単位/日
栄養マネジメント加算（新設）
12単位/日

介護保険施設サービス費の改正

要介護3 921単位/日

居室が四区分に

多床室 要介護3	903単位/日	18単位
従来型個室 要介護3	804単位/日	1177単位
ユニット型個室 要介護3	791単位/日	130単位
ユニット型準個室 要介護3	791単位/日	130単位

今回の改定は利用者には厳しく重い負担増となり、施設にとつても大減収になる内容である。

「食費」の見直しでは、基準費用額一三八〇円、栄養管理体制加算12単位、栄養マネジメント加算12単位を加えると一六二〇円になり、従来の食事サービス費二二二〇円と比べると一五〇〇円の減となる。

居住費、食費を基準費用額で設定すると、第四段階利用者の負担額（多床室）は、要介護3では従来の約五万九〇〇〇円/月から約九万二〇〇〇円/月になり約三万三〇〇〇円/月の負担増、施設も年間約一九五〇万円の減収となる。低所得者には負担増対策がなされているが、第四段階で一気に負担が増える。

〔低所得者の負担限度額〕食費

負担限度額			基準費用額
第1段階	第2段階	第3段階	
300円/日 (1.0万円)	390円/日 (1.2万円)	650円/日 (2.0万円)	1,380円 (4.2万円)

施設には基準費用額と負担限度額との差額が補足給付として、介護保険から給付される。

〔低所得者の負担限度額〕居住費

()内は月額概数

	負担限度額			基準費用額
	第1段階	第2段階	第3段階	
多床室	0円/日 (0円)	320円 (1.0万円)	320円 (1.0万円)	320円/日 (1.0万円)
従来型個室	490円/日 (1.5万円)	490円/日 (1.5万円)	1,310円 (4.0万円)	1,640円/日 (5.0万円)
ユニット型準個室	490円/日 (1.5万円)	490円/日 (1.5万円)	1,310円 (4.0万円)	1,640円/日 (5.0万円)
ユニット型個室	820円/日 (2.5万円)	820円/日 (2.5万円)	1,640円 (5.0万円)	1,970円/日 (6.0万円)

施設には基準費用額と負担限度額との差額が補足給付として、介護保険から給付される。



テレビを見るなら、「医療福祉チャンネル774」

医療福祉チャンネル774では、衛星放送スカイパーフェクTV! 774チャンネルで、医療・福祉・健康・介護に関する教育、教養、情報番組を放送!

国際医療福祉大学大学院 乃木坂スクール

平成18年度に向けての医療福祉制度改革

新たな高齢者医療制度創設及び政管健保見直し、診療報酬・介護報酬の同時改定など、医療福祉界に重大な影響を与える平成18年度医療福祉制度改革について、与党政策責任者、厚生労働省担当官ほか各界の講師をお招きして、その課題と方向性を伺います。

講師予定者:丹羽雄哉(衆議院議員・元厚生大臣) 瀬上清貴(厚生労働省大臣官房参事官・健康局付) 梶尾雅彦(厚生労働省医政局・総務課企画官) 宇都宮啓(厚生労働省医政局・医事課医師臨床研修推進室長) 山下譲(厚生労働省医政局・指導課) 三浦公嗣(厚生労働省老人保健課長) 妻谷真里(厚生労働省・保険局医療課長) 漆畑稔(薬剤師会) 武市尚子(国際医療福祉総合研究所)



谷修一氏(国際医療福祉大学学長)



和田勝氏(国際医療福祉大学大学院教授)

No.	主題	内容
1	導入	開議の趣旨・平成18年度医療福祉制度改革の持つ意味 医療福祉制度の変遷と医療福祉制度の全体像
2	医療福祉制度改革の論点と課題	1. 社会保障費の改正目標の設定 2. 三位一体の改革(生活保護制度の見直し等) 3. 高齢者医療制度の創設 4. 国保制度の改革 5. 政管健保等の改革 6. 診療報酬体系
3	医療福祉制度改革の論点と課題	7. 特定医療費制度の見直し 8. 健康管理、疾病予防、介護予防対策 9. 医療供給体制 10. 医薬品等の開発、流通
4	医療法・医師法改正の方向	地域医療計画の見直し、医療法人改革、医師等の養成、研修
5	医師不足・研修医制度の改革	新医師臨床研修制度の目的と現状(医師の流動化とその影響、医師需給について、など)
6	ミニツボジウム:各界から見た医療福祉制度改革	医療福祉制度改革への提言
7	医療品と医療制度改革	医薬品分業の今後、後発品の使用促進、薬価基準のあり方など
8	政治から見た医療福祉制度改革	医療福祉制度改革について、立法府・与党の視点から
9	保健所・市町村保健センター・地域包括支援センターの機能と役割/介護予防・健康増進	保健所による危機管理や新しいあり方、地域における高齢者の健康増進についての解説
10	医療法人の改革	医療法人の改革についての解説
11	介護保険法改正の実施と介護報酬の改定	介護保険法改正のポイントと平成18年度介護報酬改定
12	医療保険制度改革の方向性およびまとめ	平成18年度診療報酬改定の方向と混合診療問題、中医協改革

都合により講義内容等変更させていただく場合があります。

第7回本郷緩和ケア研究会

養老孟司先生特別講演「日本人の死生観と緩和ケア」

平成17年8月3日、東京大学医学部鉄門記念講堂で開催された養老孟司先生の特別講演をお送りします。養老先生は、「生と死は連続とつながっている」という、かつての日本人なら誰もがもっていた独特の死生観を妨害しているのは、獨創性がある「個人的な私」、そして「自分探し」をした「本当の私」ではないかと語っています。



養老孟司氏(東京大学名誉教授)

『こんな時どうする? お子さんの急病対応ガイドブック』



(定価200円・送料別)

とっさの時に
頼りになる1冊!

国際医療福祉大学出版会では、『こんな時どうする? お子さんの急病対応ガイドブック』を刊行いたしました。現・山王病院の小児科上席部長、前・国際医療福祉大学附属三田病院小児科医の保科清先生の監修・執筆です。本冊子は、子どもの症状を「発熱」「腹痛」「けいれん」などの項目ごとに分け、急病時の対応が一目でわかるように可愛らしいイラストでまとめたものです。

お申し込み
(株)医療福祉総合研究所お客さま係
TEL0120-870-774

●医療福祉チャンネル774を見るには

「医療福祉チャンネル774」は衛星放送スカイパーフェクTV!の774チャンネルでご視聴いただけます。ご視聴には、スカイパーフェクTV!専用アンテナ&チューナーをお部屋のテレビにつなぐだけ!

○視聴料...月額2,100円/法人契約...5,250円

(このほかに、スカイパーフェクTV!加入料...2,940円(初回のみ)・スカイパーフェクTV!月額基本料...410円がかかります。)

IUHW学生、マロニ会会員、教育後援会会員の皆様は、特別視聴の制度があります。下記までお問い合わせ下さい。

●視聴に関するお問い合わせは

フリーダイヤル0120-870-774(お客さま係) Eメール info@iryoufukushi.com ホームページ www.iryoufukushi.com

IUHW 短信

IUHW Note

●国際医療福祉大学では、10周年を記念して『国際医療福祉大学十年史』を編集中です。第1部・国際医療福祉大学の教育、第2部・記録で見る国際医療福祉大学、第3部・資料編の構成で、全168ページです。初代学科長による創立当時のエピソード、現在の学科で行われている教育の現状のほか、全7年分の国家資格試験合格率や就職内定状況も収録され、本学を知る貴重な資料となります。

●9月に行われた第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」のサッカー成年男子で、栃木県の選抜チームが3連覇を飾りました。本学医療経営管理学科3年の高橋勇貴君も、この栃木県選抜チームの選手でした。残念ながら試合に出場するチャンスはありませんでしたが、国体で優勝するほどのチームのメンバーに選ばれたことは快挙です。

デザイン:アイ・デプト、
写真:大木茂、米山真人ほか
編集:東京事務所出版広報室

広報誌IUHW63号
発行:学校法人 国際医療福祉大学
〔東京事務所〕出版広報室
東京都港区南青山1-14-1
電話 03-55775150
〔大田原本校〕広報委員会
栃木県大田原市北金丸2600-1
電話 0287-243000
〔大川キャンパス〕
福岡県大川市横津1-37-1
電話 0944-892000

